

5 炎症について考える ～血管透過性のイメージング～

Intravital imaging of vascular permeability *in vivo*

江川形平

EGAWA Gyohei

京都大学大学院医学研究科皮膚科学

Summary

接触皮膚炎などの炎症が生じると、組織には“腫脹”が生じる。これは、血管透過性の亢進に起因するが、この“腫脹”の生理学的な意味とは何なのか？本稿では、血管膜のバリア構造を概説し、また炎症や病態とのかかわりについて考察する。

タイトジャンクション

隣り合う細胞同士を密着させる装置。細胞間物質移動経路のバリアを形成する。

ダルトン(Da)

重さの単位。分子質量。おもに蛋白のサイズを表すのに用いられる。数値は分子量と同じになる。分子量10,000の蛋白の重さ=10kDa。

KEY WORDS

炎症／血管透過性／血管内皮細胞／タイトジャンクション／免疫グロブリン